

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



次世代を担う
若者たち
～馬鈴薯の播種作業を行う林俊文さん～
(紹介は8ページ)

2019.6
No.
548

願いを込めて

業始まる!!



春小麦播種

〈岐阜地区〉

まさひろ
山本将大さんの圃場で撮影。
春小麦の播種作業は4月12日
頃から始まり、当町では約210ha
が作付され、当JAの取扱い収
量は約750tを計画しています。



本年は天候にも恵まれ、本町の基幹作物である「玉葱」「甜菜」「馬鈴薯」「小麦」の植付け作業が一斉に開始しました。豊穡の秋に願いを込めて農作業に励んでいる姿を写真で紹介致します。

玉葱定植

〈日吉地区〉

(有) ひかりの圃場で撮影。
玉葱の植付け作業は4月25日
頃から始まり、当町では約440ha
が作付され、当JAの取扱い収
量は約26,500tを計画していま
す。





豊穠の秋に

植え付け作

甜菜定植

〈岐阜地区〉

寺町隆夫さんの圃場で撮影。
甜菜の植付け作業は4月20日頃から始まり、当町では約1,105haが作付され、当JAの取扱い収量は約71,000tを計画しています。



馬鈴薯播種

〈岐阜地区〉

井川靖敏さんの圃場で撮影。
馬鈴薯の播種作業は5月3日頃から始まり、当町では約636haが作付され、当JAの取扱い収量は約19,000tを計画しています。





晴天で大盛況!

今年で18回目を迎えた「JAところ園芸市」が5月16日、資材課店舗前で開かれました。園芸市は北見市の株サン園芸が協賛し、色とりどりの花や野菜の苗、肥料などが会場を埋め尽くすほど並べられました。

晴天に恵まれた当日、会場



多くの町民で賑わいました

には多くの町民が訪れ大盛況となり、野菜苗を買い求めにきた町民は「シソを買いに来ました。美味しくなるように大事に育てたい」と笑顔で話してくれました。

たくさんのご来場、またお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

会員間の親睦を深める事業計画承認される

—JAところ年金友の会総会・温泉保養旅行—

JAところ年金友の会（佐藤國昭会長）は、4月15日、17日に「第31回通常総会・温泉保養旅行」を温根湯温泉大江本家で行い、40人が参加しました。

総会の開会にあたり、佐藤会長より「昨年7月に友の会設立30周年式典を会員皆様に参加いただき執り行いました。今後も活発な事業への参加をお願いします」との開会挨拶後、来賓の当JA川上和則組合長より祝辞を賜り、農業・農協の情勢について報告をいただきました。来賓挨拶後、富丘地区の守屋護氏を議長に選出し議事に入り、パークゴルフ・グートボール・料理講習会などの事業計画が原案通り承認されました。

総会後、北見市出前講座より土田恵子氏を



懇親会の1コマ

講師に招き「楽しい呼吸で若返り」というテーマで「ストレッチ」や「発声練習」を行い参加者は心も体もリフレッシュしました。

参加者は、ホテル自慢の源泉かけ流し「美白の湯」にゆつくりとつかり『また元気で参加しよう』と約束し帰途につきました。



講演会で発声練習

とこるピンクにんたんの

ブランド化に向け

JAとこる（川上組合長）は常呂町ニンニク耕作者部会員を集め、2年目となるとこるピンクにんたんのブランド化に向けた総合学習会を4月15日、当JA会議室で開きました。講師は北海道農政事務所と当JA職員計6人が努めました。

ト・デメリットについて情報・意見交換も行いました。今後においても、JAと部会が団結し、高品質な生産物の栽培・販売に努めて参ります。

今回の講習会では、H30年産にんたんの販売・品質状況の報告から始まり、営農推進室より令和元年産の高品質原料栽培に向けての研究・課題について説明しました。

また、北海道農政事務所より当JAの事業計画にもある地理的表示制度GIについて他産地での優良事例や導入後のメリッ



総合学習会に参加した皆さん

ほくてん

農家の皆様へのお知らせとお願いです。

農耕機械等と送電線との接近・接触事故防止について

農耕機械等と送電線の接近・接触による事故は、広範囲な地域にわたって停電となり社会的混乱を招く事態となるばかりでなく、感電人身災害に発展する恐れがあります。

農業経営の皆様には種蒔、融雪剤・肥料・農薬散布、収穫等で送電線の付近を作業することがあると思われます。特に大型のハーベスター、スプレーヤー等を使用される場合には電力線と接近・接触する恐れがありますので、安全に作業を進めて頂きますようお願い致します。

なお、打合せ・立会いに関する費用は一切申し受けておりませんので、事前の連絡をお願い致します。



連絡先 北海道電力(株)送配電カンパニー北見支店電力部送電グループ
電話：(0157) 23-6879

又は、最寄の北海道電力(株)の事務所へ連絡くださるようお願い致します。

第14回組合員交流会開催のお知らせ

JA TOKORO FARMERS FESTA 2019

「組合員家族が一堂に会し、地域、世代間を超えて交流を図る」ことを目的にした組合員交流会が6月22日に開かれます。

今年も地区対抗競技や抽選会などを企画していますので、是非とも組合員家族皆さんでご参加いただき、楽しいひと時を過ごしましょう！

(昨年開かれた第13回組合員交流会の様子を写真で紹介します)

と き 6月22日(土) 11時00分～14時00分(予定)
と ころ JAところ玉葱選果施設特設会場(常呂町土佐)
主 催 JAところ・JAところ青年部



※詳細については、後日お知らせいたします。(営農企画課)

5月号で記載した内容に誤りがありましたので訂正致します。

〈訂正とお詫び〉 P8 新採用職員紹介 誤：藤林 信久 平成7年12月生まれ(19歳)
 ⇒ 正：藤林 信久 平成11年12月生まれ(19歳)

ご愛読頂いている皆様にご迷惑をお掛けしたことを心からお詫び申し上げます。今後も引き続き「光と風の大地」をよろしくお願い致します。

毎日の暮らしをいきいきさせる いま読みたい記事がいっぱい！
食と農から始まる。JAグループのファミリー・マガジン

デザインを一新して、さらに読みやすく使いやすくなりました

毎月3大特集

お金を呼び込む暮らし方

現役生涯

手芸

健康

JA自己改革や協同のたいせつさを伝える記事もわかりやすく！全国の地域情報も掲載。

年6回別冊付録が付きまます

お申し込みはお近くの本・支店(所)へ

JAグループ 家の光協会
 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11
 TEL.03-3266-9039 <http://www.i-enohikari.net>

誌代(税込)	2019年11月号まで	2019年12月号より
普通月号	617円	629円
付録月号(1・4・5・7・9月号)	906円	922円
家計簿付き12月号	1,008円	1,027円

※消費税税率変更により、2019年12月号より定価を改定します。

行事予定表

6月1日(土)～6月30日(日)

6月 1日(土)

閉組日

6月 3日(月)

職員研修旅行 第4班～7日

6月 8日(土)

閉組日

6月15日(土)

北海道神宮祭、閉組日

6月21日(金)

第5回定例理事会

6月22日(土)

第14回組合員交流会

6月23日(日)

農休日

6月26日(水)

フレッシュミセス部会夏季視察研修

6月29日(土)

閉組日

第3回理事会報告

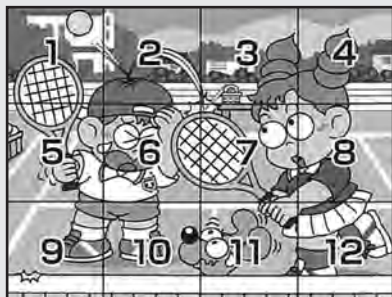
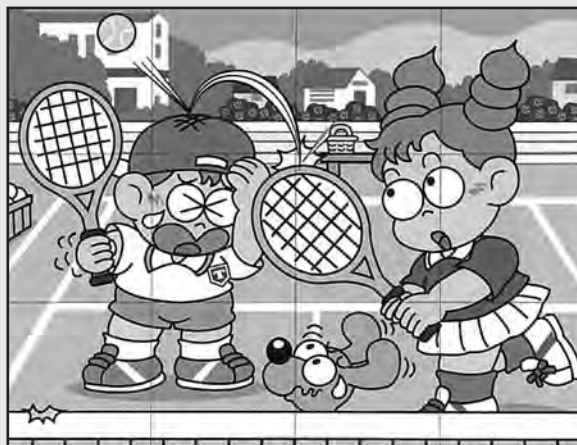
1. 行政庁用業務報告書の提出について
原案の通り提出することで承認されました。
2. 組合員の出資金譲渡について
原案の通り譲渡することで承認されました。
3. 端野地区常呂川流域H28台風被害者期成会からの要請について
原案の通り譲渡することで承認されました。

〈報告事項〉

1. 酪農経営復興支援による義援金の支払いについて
2. 平成30年産規格外小麦本精算について
3. 平成30年産経営所得安定対策交付金(数量払)の交付について
4. J A北海道中央会新採用職員研修受入について
5. 労働組合の執行部体制の変更について
6. 農業委員会報告

まちがい探し

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。



応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えの番号と広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で、**共同給油所の洗車カード3,000円分**をプレゼントします。

先月の当選者・解答

5月号のクロスワードパズルの答えは「モクレン」でした。抽選の結果、次の方が当選しました。おめでとうございます。

大江 慎悟さん(共立) ※ () 内は地区名です。

読者の声

★5月号のクロスワードパズルが難しかったです。

(匿名希望)

★いつも広報を楽しみにしています。

(匿名希望)

女性部の取り組み

華やかに皆さんをお出迎え

～農協事務所前花壇整備～

JAところ女性部2役による農協事務所前の花壇整備が4月11日に行われました。今年も色とりどりのパンジーとビオラの花が咲いており、近くにお寄りの際は、是非ご覧になって下さい。



● 天候にも恵まれた花壇整備となりました
(左より石田副部長、小野寺副部長、寺町部長)

遊休タオル寄贈

JAところ女性部（寺町敬子部長）は4月11日、北見市社会福祉協議会常呂支所へ遊休タオルの寄贈を行いました。部員が家庭から持ち寄ったタオルは、段ボール3箱分の141枚になり、当日は寺町部長、小野寺真美副部長、石田良美副部長が支所を訪問。同協議会の松金勲副会長へタオルを手渡しました。

寄贈されたタオルは、北見日赤奉仕団を通じて町内の施設、学校などに配布、活用されます。JAところ女性部では今後も活動の一環とし継続して取り組んで参ります。



● 松金副会長へ寺町部長よりタオルが寄贈されました

日本農業新聞会長賞を受賞!!

令和元年度 日本農業新聞全国大会

日本農業新聞は5月9日、東京都内のホテルで令和元年度日本農業新聞全国大会を開催し、全国のJA関係者ら約600人が出席しました。

大会では、教育広報活動や新聞普及・活用で特に優れた成績を収めたJAや通信員らが表彰され、当JAは長期普及優積JAとして昨年に引き続き「日本農業新聞会長賞」を受賞。出席した当JA川上和則組合長が大会会場で受賞JAとして紹介されました。

大会では、受賞JAによる普及活用の体験発表や、審査委員長を務める、やくみつる氏による一村逸品の表彰などが行われました。また記念講演では、日本農業新聞の紙面で連載していた『笑ってなんぼじゃ』コーナーの著者でタレントの島田洋七氏が登壇し『洋七流逆

境の乗り越え方』と題して、切れ目のない語り口で会場をにぎわせました。

今後も農業情勢の情報源として日本農業新聞の普及活動を進めて参ります。



日本農業新聞全国大会に出席した皆さん

編集後記

- 5月中旬の暴風により、圃場・施設などに被害を及ぼしました。災害に遭われた方には心よりお見舞い申し上げます。
- 5月26日に、佐呂間町で39.5℃と5月の日本全域としての観測記録を更新する猛暑となりました。これから管理作業などで農作業が本格化していきますが熱中症には十分に気をつけ、こまめに水分補給・休憩をとりましょう!
- 《営農企画課：広報担当》

次世代を担う 若者たち

馬鈴薯の播種作業を行う林俊文さん

今月の表紙は、岐阜地区の林俊文さん(26)です。今年度から導入したトラクターと馬鈴薯の播種機械を使用し定植作業を行っているところを取材させていただきました。

播種作業の合間に、今後の未来像について聞くと林さんは「現状では、自動操舵システムなどに頼らず、自分の腕を磨いていきたい。そして、いつかはどんな年でも安定して生産できるような農家になりたい!」と話してくれました。

農繁期にも関わらず、撮影にご協力いただきましてありがとうございました。

